

3 各会計別の概要

一般会計のほか、町には特定の事業を行う目的で設置される特別会計があります。

(単位：円)

	収入	支出	差引額
一般会計	8,280,183,000	8,015,447,372	264,735,628
国民健康保険(事業勘定)	2,532,391,903	2,648,417,420	▲ 116,025,517
国民健康保険(診療施設勘定)	162,526,235	162,526,191	44
介護保険事業	1,605,113,062	1,585,214,305	20,228,757
農業集落排水事業	40,218,263	39,855,787	362,476
漁業集落排水事業	21,405,104	20,870,882	534,222
特別養護老人ホーム静和園事業	340,078,590	333,821,833	6,256,757
後期高齢者医療	251,373,517	251,110,628	262,889
水道事業(収益的)	361,665,929	266,726,244	94,939,685
合計	13,595,285,603	13,323,990,662	271,294,941

こんな事業を実施しました

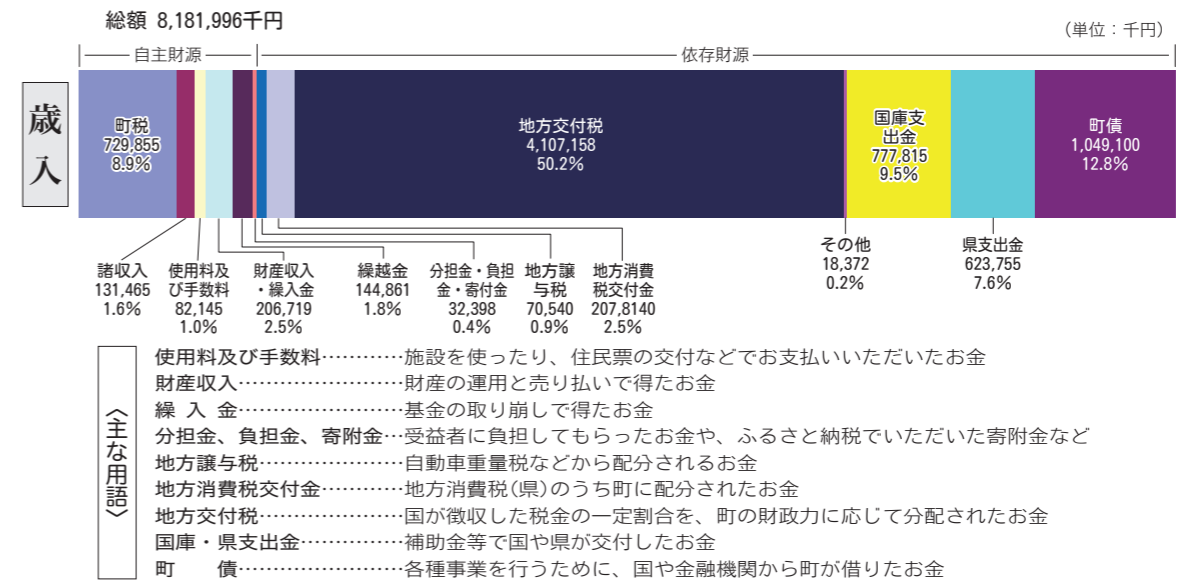
中泊メバル膳 開発関連事業

6,912千円

新・OMOTENASHIご当地グルメ「中泊メバルの刺身と煮付け膳」を開発しました。また、メバル膳のサンプルを作成し、各店舗に設置しました。

1 一般会計の概要

福祉や教育など、さまざまな場面で使われる一般会計。町の台所は、左で紹介している「特別会計」以外は、すべて一般会計で処理しています。



こんな事業を実施しました

小・中学生医療費助成事業

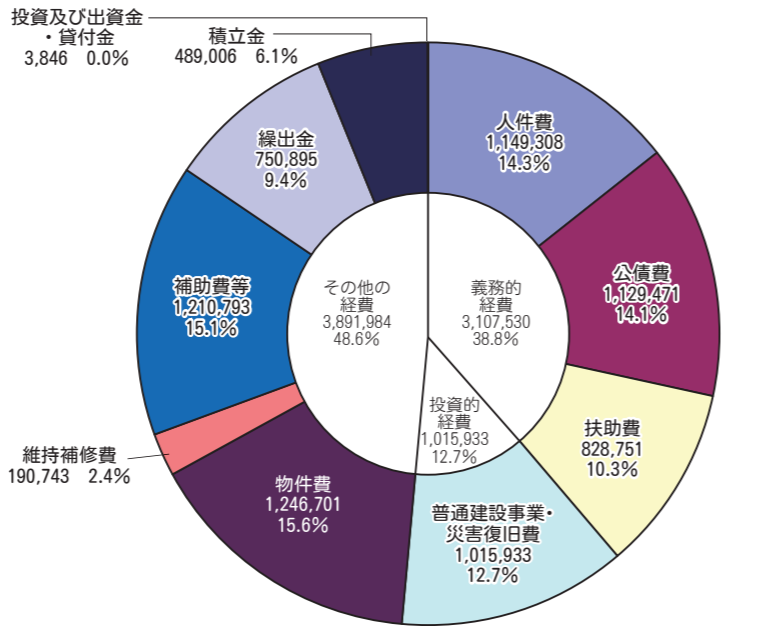
10,210千円

小・中学生が医療保険で医療の給付を受けた場合の自己負担に係る費用を、その保護者に対して支給しました。

4 そのほか

●一般会計の性質別歳出

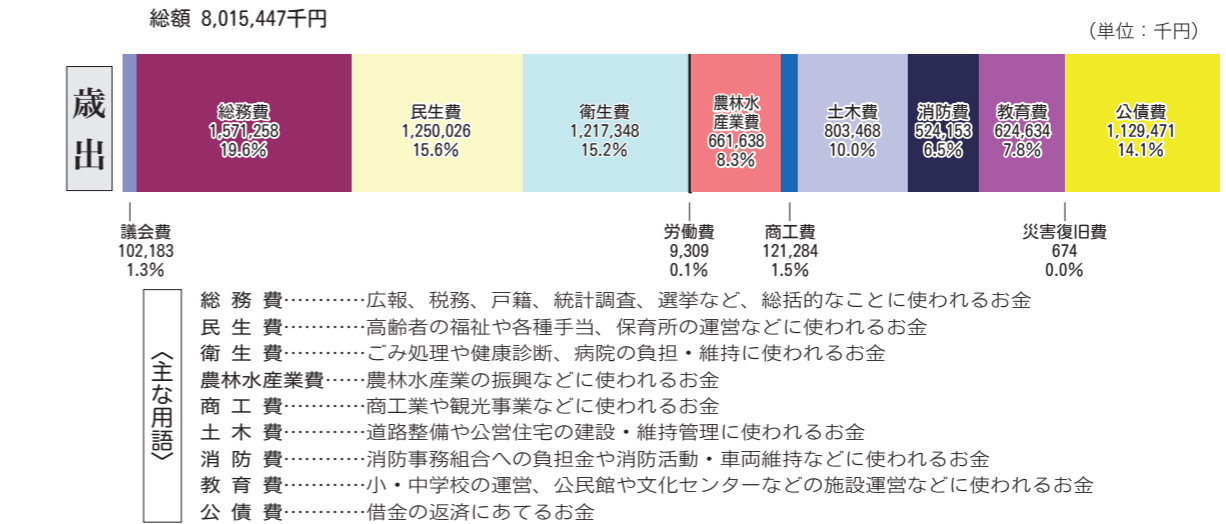
使ったお金の性質によって分けた表です。(単位：千円)



●借金(公債費)残高

(単位：千円)

	平成26年度末	平成27年度末	比較増減
一般会計	11,233,066	11,268,490	35,424
国民健康保険	227,844	211,531	▲ 16,313
介護保険事業	0	0	0
農業集落排水事業	274,531	252,373	▲ 22,158
漁業集落排水事業	195,438	182,226	▲ 13,212
特別養護老人ホーム静和園事業	42,000	37,463	▲ 4,537
水道事業(企業債)	1,992,236	2,328,028	335,792
合計	13,965,115	14,280,111	314,996



こんな事業を実施しました

プレミアム商品券 発行事業

36,466千円

町内の消費喚起・拡大を図るため、プレミアム付き商品券を発行しました。

2 財政健全化判断比率

この数値が基準を上回ると、財政運営が厳しいとして国に指定されます。町は、いずれの基準も下回りました。

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
平成25年度	—	—	13.8%	106.7%
平成26年度	—	—	12.6%	69.8%
平成27年度	—	—	10.6%	88.5%
早期健全化基準	15.0%	20.0%	25.0%	350.0%
財政再生基準	20.0%	30.0%	35.0%	

(各指標の解説)

実質赤字比率……広い目的に使われる「一般会計」の赤字額が、地方税や地方交付税等の財源規模(標準財政規模)と比べてどのくらいあるかを指標化したものです。

連結実質赤字比率……「一般会計」だけでなく、特別会計も含めた全会計を合算し、町全体としての赤字額を指標化したものです。一般の会社などで行われている「連結決算」と同じ意味合いを持ちます。

実質公債費比率……借入金の返済やこれに準ずるものが、標準財政規模に対してどのくらいあるかを指標化したものです。この数字が大きいほど、借入金返済に追われ、資金繰りが苦しいということになります。

将来負担比率……借入金の返済や将来負担することになるものの残高を、標準財政規模に対してどのくらいあるかを指標化したものです。この数値が大きいと、現在の負担はそれほどでなくても、将来必要になる負担が大きいということになります。

入ったお金、払ったお金の内訳を紹介します

※四捨五入しているため一部合計が合わない場合があります